

# Micro Focus™ Visual COBOL

Micro Focus™ Visual COBOL は、市場をリードする COBOL アプリケーション向けモダナイゼーションソリューションです。

## 製品の概要

Microsoft Visual Studio、Microsoft Visual Studio Code および Eclipse で利用できる高度な COBOL アプリケーション開発ツールには最新の開発環境が用意されており、Java 開発者および C# 開発者は、これまでと同様の環境を利用できます。そのため、アジャイルな開発を迅速に進めやすく、新規スタッフのオンボーディングも容易に行うことができます。

特許取得済みのコンパイラテクノロジーにより、ネイティブプラットフォーム (Windows システム、UNIX システム、Linux システムなど) およびマネージドコード環境 (.NET、Java 仮想マシン (JVM) など) に柔軟に導入できます。既存の COBOL アプリケーションを C# システムや Java システムとシームレスに統合できるため、開発とサービス提供を迅速に行えます。

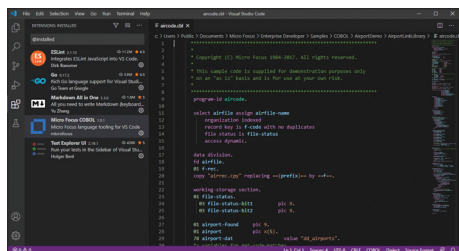


図 1. Microsoft Visual Studio Code を使用した COBOL の開発

## 業務上のメリット

Micro Focus™ Visual COBOL by OpenText™ を利用することで、IT 組織は既存のアプリケーション投資から新たな顧客価値を創出できます。Micro Focus™ Visual COBOL は、コアのアプリケーションロジックを再利用することで、書き換えや置き換えの手法に

\*Undo.io からライセンスを別途取得可能。

よって生じるリスク (想定外のコストの発生、デリバリーに要する期間の長期化) を解消します。

Micro Focus™ Visual COBOL により、組織は新たなビジネス要件に迅速かつ安全に対応し、予測可能で非常にコスト効率に優れた結果を得ることができます。

## 機能概要

- 最適化されたハイパフォーマンスな COBOL ランタイム環境
- OpenText™ Net Express および OpenText™ Server Express の既存ユーザーが対象の、互換性の高いアップグレードパス
- Micro Focus™ Visual COBOL for Eclipse by OpenText™ または Micro Focus™ Visual COBOL for Visual Studio by OpenText™ で使用可能な、業界をリードする COBOL アプリケーション開発ツールセット
- モダナイゼーションタスクを加速させ容易なメンテナンスを可能にする、統合されたアプリケーション分析およびリファクタリングツール
- Windows、UNIX、Linux のプラットフォームにまたがって行えるアプリケーション開発および導入
- アプリケーションサーバー、データベース、ミドルウェアコンポーネントなど、幅広いサードパーティ製品をサポート
- Java 仮想マシン (JVM) または .NET プラットフォームへの導入を行うための Java バイトコードおよび Microsoft 中間言語 (MSIL) を直接生成
- オブジェクト指向の開発と従来のプロシージャ型スタイルに対応するため新しい言語構造をサポートする、最新の COBOL 言語構文
- 既存の COBOL アプリケーションをベースとし、SOA、REST、JSON テクノロジーを使用した Web サービスおよび API 開発用ツールキット

- COBOL ファイルの IO をリレーショナルデータベースに自動的にルーティングするオプションの Database File Handler コンポーネントを使用しての、アプリケーションの可用性と拡張性の向上
- **Undo\*** からオプションの特許取得済みデバッグツールを使用することで、ソフトウェアの不具合の解決時間が短縮され、MTTR を削減。Eclipse 内の連携ポイントにより、開発者は「動作中」のソフトウェアの不具合を記録してデバッガーで再生可能

## 機能概要の詳細

### 特許取得済みのコンパイラテクノロジー

Micro Focus™ Visual COBOL コンパイラには特許取得済みの技術が採用されており、COBOL アプリケーション開発に使用できるユニークで多様なオプションを提供します。COBOL プログラムを、次のようなさまざまな実行可能形式にコンパイルできます。

- **中間コード (.int) :** プラットフォームポータブルな実行可能形式

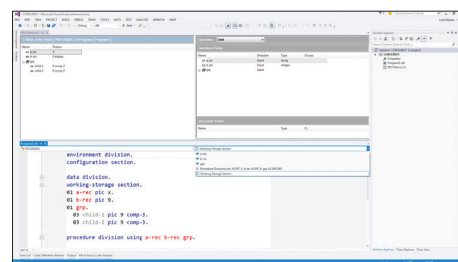


図 2. OpenText Interface Mapping Toolkit (IMTK) を使用した RESTful Web サービスの作成

- **生成コード (.gnt) :** ターゲットプラットフォーム向けに最適化された実行可能形式
- **共有オブジェクト (.so) :** UNIX/Linux プラットフォーム向けのネイティブの共有オブジェクト実行可能形式

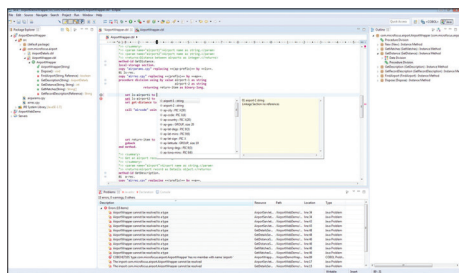


図 3. Eclipse を使用した COBOL の開発

- **Windows 実行可能ファイル (.exe/dll) :** Windows ネイティブの実行可能形式
- **Java バイトコード (.class) :** Java バイトコードにコンパイルされた COBOL で、JVM で実行可能
- **.NET アセンブリ (.exe/.dll) :** MSIL にコンパイルされた COBOL で、Microsoft 共通言語ランタイム (CLR) 内で実行可能

Micro Focus™ Visual COBOL コンパイラは、ANSI 標準、ISO 標準、エンタープライズ COBOL など、最新のものから古いものまで、COBOL のさまざまな規格をサポートしています。

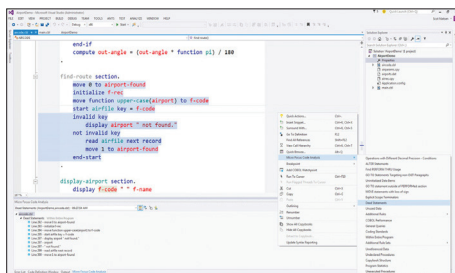


図 4. Micro Focus™ Visual COBOL for Visual Studio および Micro Focus™ Visual COBOL for Eclipse 内のルールベース分析により、使われていないコードの特定やコーディング標準への準拠が可能

### ハイパフォーマンスな COBOL ランタイム環境

Micro Focus™ COBOL Server by OpenText™ は、COBOL アプリケーションの実行に適した、ハイパフォーマンスかつプラットフォームポータブルなランタイム環境を提供します。

ポータブル API 層の使用によって、すべてのサポート対象プラットフォーム上でアプリケーションは同じように動作するため、開発者は「一度書けばどこにでも導入できる

(write-once, deploy-anywhere) アプローチを実現できます。

### クロスプラットフォームの導入

Micro Focus™ COBOL コンパイラと COBOL ランタイムシステムはユビキタスプラットフォームに対応しているため、COBOL アプリケーションをさまざまな分散システムに横断的に導入できます。そのため、プラットフォームが異なっても一貫性のある運用と互換性が実現されます。COBOL アプリケーションから呼び出し可能な標準ライブラリルーチンを使うことで、アプリケーション開発者は「一度書けばどこにでも導入できる (write-once, deploy-anywhere)」アプローチを実現しながら、OS レベルの機能にもアクセスできます。

ISV は、同じ COBOL コードベースで複数のプラットフォームをターゲットにすることができ、その結果、ビジネスの拡大とアプリケーションテストのオーバーヘッドの削減につながることができます。アプリケーションオーナーは運用プラットフォームを迅速に変更して、コモディティハードウェアと、よりアジャイルで柔軟な導入オプションを活用できます。

## システム要件

OpenText は、さまざまなオペレーティングプラットフォームとサードパーティソフトウェアをサポートしており、定期的にそれらのテストを実行しています。バージョン固有の詳細情報については、次の場所で公開されているオンライン製品ドキュメントの、サポートされている OS とサードパーティソフトウェアのセクションを確認してください。 [www.microfocus.com/documentation/visual-cobol/](http://www.microfocus.com/documentation/visual-cobol/)

Micro Focus Visual COBOL では、次のプラットフォームとサードパーティテクノロジーがサポートされています。

### 製品

#### アプリケーション開発

- Visual COBOL for Visual Studio
- Visual COBOL for Eclipse
- Visual COBOL Development Hub

#### アプリケーション導入

- COBOL Server

#### 開発環境

- Visual Studio
- Eclipse
- Visual Studio Code

### プラットフォーム

- Windows および Windows Server
- IBM AIX
- HP-UX
- Solaris SPARC および Intel
- SUSE on Intel および zSystems
- Red Hat on Intel および zSystems
- Oracle Red Hat 互換および Unbreakable Kernel
- Ubuntu
- Rocky

### Java

- Oracle Java
- Adopt OpenJDK

### アプリケーションサーバー

- Tomcat
- JBOSS
- Websphere および Websphere Liberty
- WebLogic

### リレーショナルデータベース

- Oracle
- SQL Server
- DB2
- PostgreSQL
- MySQL

### ミドルウェア

- TXSeries
- Tuxedo

### .NET

- .NET Framework
- .NET Core

### Docker

- Community および Enterprise Edition
- Windows Server およびサポートされる Linux ディストリビューション

### Podman/OCI

- RHEL

オフクラウドでも、AWS、Azure、GCP などを含むすべての大手クラウドプロバイダーでも使用可能です。

お問い合わせ



最新リリースのMicro Focus™ Visual COBOLでは、Docker コンテナプラットフォームがサポートされ、アプリケーションの開発と導入の柔軟性がさらに向上しています。新しい製品パッケージオプションでは、Docker を Windows Server と Linux の両方のプラットフォームに導入できるようになっています。

### Database File Handler

Micro Focus™ Visual COBOL には、従来のファイルハンドラーデータストレージを使

用する COBOL アプリケーション向けに、ファイルレコードを自動的にリレーショナルデータベースにルーティングする新しいメカニズムが装備されています。既製のデータベースツールを用いたレポート機能が改善されており、アプリケーションの拡張性と可用性が向上します。

詳細はこちら：

[www.opentext.com](http://www.opentext.com)